

野菜を育てて学ぶ 食育実践BOOK

川上一郎



ラッキョウ

■ 葉は食用、球は貯蔵の多年草

■ 原産地: 中国、朝鮮半島

■ 日本の産地: 鹿児島、鳥取、宮崎

この野菜の基本的特性 (環境適応性)

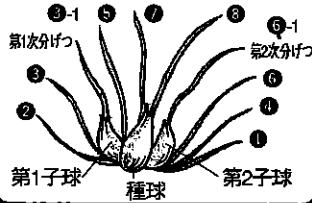
[温度] 生育適温20~30℃。
耐寒性は強く、耐暑性は弱い。
[光] 強い光線を嫌う。長日条件で球の肥大が促進される。
[水] 乾燥に強い。球の肥大

時期には水分を求める。
[土] 吸肥力が強い。土壌の適応性はきわめて強く、連作も可能。

見つける

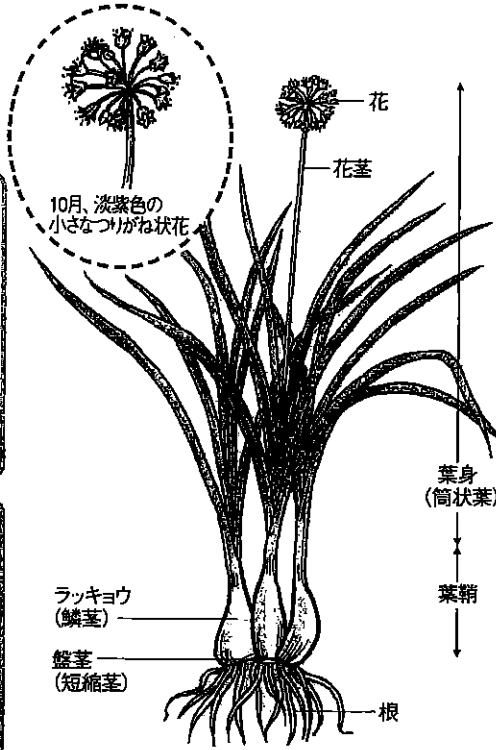
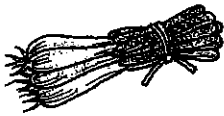
球はどのようにして殖える?

展葉の3枚めごとにあるわき芽が分けつての形で伸び、球になってくる。



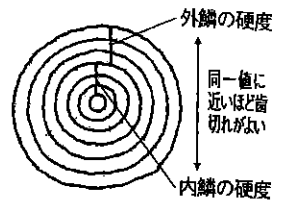
エシャロットとして売られているものは?

葉付きの生ラッキョウである。本物のエシャロットは別にある。最近ではエシャラッキョウとも呼ばれる。



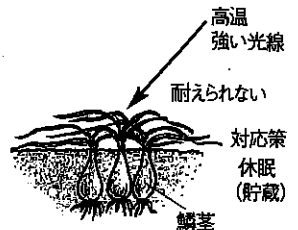
歯切れのよさはどこからくる?

かみ始め(外鱗)とかみ終わり(内鱗)の硬さが同じになったときに歯切れのよさを感じる。



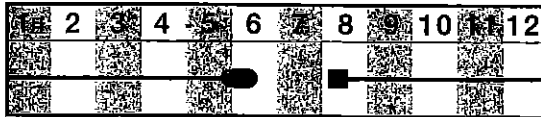
夏眠するってホント?

環境に対応するため、地面の下に鱗茎をつくって夏眠するスタイルを獲得した。



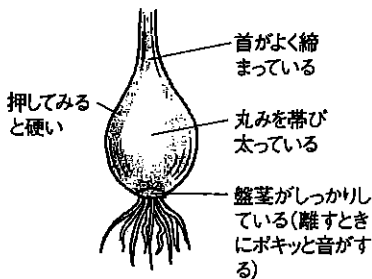
育てる

シャリシャリ感が残る早熟仕上げラッキョウの栽培



植えつけ

① よく締まった大球の種球を選ぶ
種球の中にはすでに第1次の分球芽が内蔵されているので、大玉の種球を選ぶ。



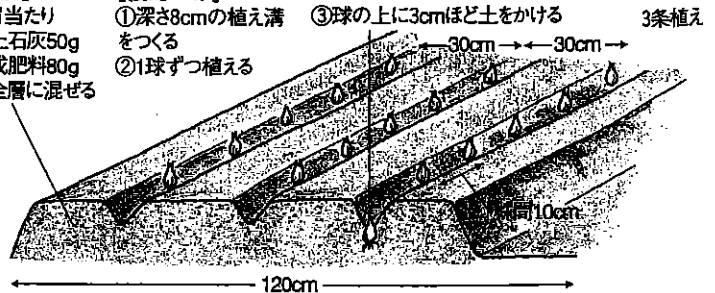
② 1株1球植えにして分球を確実にする
1球植えにすることによって、茎葉と根の発育が盛んになり、元気な分球ができる。

[元肥]

1㎡当たり
苦土石灰50g
化成肥料80g
を全層に混ぜる

[植えつけ]

① 深さ8cmの植え溝をつくる
② 1球ずつ植える
③ 球の上に3cmほど土をかける



川上一郎 (かわかみ・いちろう)

鳥取県生まれ。1962年鳥取県入庁。野菜特技普及員、普及局長、農業大学教育部長、農産園芸課長、農林振興局長を歴任し、「自然感」と「農の心」を理念に野菜産地づくりや家庭菜園の改善、地産地消の推進などに従事。県を退職後、JA鳥取中央会専務に就任。2004年、JA鳥取県食農教育支援センターを設立し、アグリスクールや家庭における食育の課題を具体的・実践的に追及している。現在、JA鳥取県食農教育支援センター理事長、中国四国地域食育推進協議会委員、鳥取県農政懇話会幹事などを務める。家庭菜園歴42年。また、各地のJAや学校関係等への講演活動も多数。著書に「特産シリーズ ラッキョウ」(農文協)、「農業技術大系 野菜編」(分担執筆・農文協)など。

●参考文献など

【そだててあそぼう】シリーズ(農文協)

【身近な野菜のなるほど観察記】(草思社)

【農業技術大系 野菜編】(農文協)

【野菜のはなし】I、II (技報堂出版)

【家庭菜園大百科】(家の光協会)

【イラスト 新鮮野菜づくり】(家の光協会)

【野菜のソムリエ「ベジフルキッチン」】(幻冬舎)

【食材健康大事典】(時事通信出版局)

【グラフィック 100万人の野菜図鑑】(講談社)

【日本の野菜】(八坂書房)

野菜ブック <http://alic.vegenet.jp/yasaibook/index.html>

●デザイン・イラスト/佐藤裕子

●編集協力/堀内隆三

野菜を育てて学ぶ 食育実践BOOK

2007年4月1日 第1版発行

著者 川上一郎

発行者 山本昌之

発行所 社団法人 家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11

電話 03-3266-9029 (販売)

03-3266-9028 (編集)

振替 00150-1-4724

印刷 三松堂印刷株式会社

製本 株式会社関山製本社

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

©Ichiro Kawakami 2007 Printed in Japan

ISBN978-4-259-51807-3 C0061